

# “人むすびの場”をともに創りませんか？

★「むすび（産霊）」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。

★「人むすびの場」は、ご参加の皆さん全員が「場づくり人」として、思いと知恵を分かちあい、未来に向かう「対話と創発の場」です。2008年から毎月開催しています。

★私たち一人ひとりが一枚の布を織りあげるように、どこを織っているかは後でのお楽しみで、世の中と関わることで、未来社会を明るいものにできるよう希（ねが）います。

★2017年も心ある取組みの“今”をお伝えし、対話を通じて前進しましょう。  
皆さまのご参加を心からお待ちしています。

## 1. 第110回テーマ:「ネガポジ変換で若者の就職を支援する

～選択肢を広げるキャリア教育の現場から～

2. 日程：平成29年9月22日(金) 午後7時～9時

3. 内容：☆ゲストスピーチ 黒沢 一樹（くろさわ・かずき）さん

＜NPO法人「若者就職支援協会」理事長＞ <http://www.syusyokushien.com/>

＜生きづらさを抱えた若者へ「リアル」と「希望」を届けること＞をビジョンに掲げ、若者のキャリアアップを支援するNPO「若者就職支援協会」を設立して10年になる黒沢一樹理事長。いま、「ネガポジ先生」として、高校や大学でのキャリア教育授業の取り組みや、ブラック企業に働く若者の権利意識向上の活動などが、多様な分野の「悩める現場」から注目され、引っ張りだこの存在になっています。「中卒で、転職は50回以上、何度も起業に失敗した」という自分自身の一見ネガティブな経歴を、「学歴に関係ないキャリアづくりと、豊富な就活経験」として若者たちに「ネガポジ変換」してポジティブに伝えることで、若者たちのやる気スイッチが入り、前向きな思考をつくり出して、共感を広げています。『最悪から学ぶ 世渡りの強化書』（日経新聞出版）などを出版、NHKが「最悪から逃げろ！」と題して黒沢さんの活動を放送するなど、メディアの注目度も高まっています。

若者自身が「働くこと」について真剣に考えるようになる独自のネガポジメソッドの現場を、黒沢さんに報告していただき、若者就職支援のこれからの在り方を一緒に話し合いたいと思います。

☆人むすびカフェ ファシリテーター：角田 知行さん

ワールド・カフェの手法を用いて、ゲストのお話から連想されるアイデアやお互いの想いを対話します。

4. 会場：EIJIPRESS Lab（渋谷区恵比寿南1-9-12 ピトレスクビル5F）

5. 参加費：1000円 ※終了後、軽く交流会を開催します。（実費2,000円）お申し込みは21日（木）まで。

## お申込はHPまたはメールからどうぞ！

お名前、所属、電話、mailアドレス、懇親会参加をご明記ください。<http://www.terrestrial.co.jp/musubi/>

※記録写真の撮影とその活用をご了承ください。

株式会社テラ・コーポレーション内

“人むすびの場”づくり企画運営チーム：高重  
東京都文京区白山1丁目20番4号

ハウス白山ビル4階（〒113-0001）

TEL:03(3815)1981

Email:[info@terrestrial.co.jp](mailto:info@terrestrial.co.jp)

※お預かりした個人情報は本ご案内の他に利用しません

